

富士川町地域公共交通計画 (案)

「将来を見据えた持続可能な公共交通の実現」

“生涯”快適に暮らせるまちのための公共交通

令和6年 月

富士川町地域公共交通活性化協議会

目次

第1章 計画の概要	1
1. 町の概要	1
2. 町内の公共交通の現状	2
3. 各公共交通の位置付け	4
4. 富士川町公共交通路線図	5
3. アンケートからわかる町内の移動実態	6
第2章 計画の基本的な考え方	7
1. 計画の位置づけ	7
2. 基本方針	1 3
3. 基本目標	1 3
4. 数値目標	1 4
5. 計画の区域	1 5
6. 計画の期間	1 5
第3章 具体的な施策	1 6
1. 【目標1】 住民生活を支える公共交通の確保・維持	1 6
2. 【目標2】 利用者に寄り添った公共交通	1 6
3. 【目標3】 未来に誇れる公共交通体系の模索	1 7
第4章 計画の推進及び点検・評価	1 8
1. 計画の推進体制	1 8
2. 計画の点検・評価	1 9
資料編	2 0

第1章 計画の概要

1. 町の概要

富士川町は、甲府盆地の南西端に位置し、西側一帯は、巨摩山地が連なり、東側は、富士川が縦断しています。

町面積 112 km²のうち、山林が約 81%を占め、農用地は 4%、宅地は約 3%となっており、平坦地が少ない地形であります。

人口は 14,219 人（令和 2 年国勢調査）で、住民の多くは町東部の市街地に居住しています。

中山間地域である平林、穂積、五開区が町西部に、中部区が富士川沿い町南東部に位置しています。

江戸時代から昭和初期にかけては、富士川舟運による往来の拠点として栄え、その後 JR 身延線や国道 52 号が整備されました。

現在は、中央自動車道と新東名自動車道を結ぶ中部横断自動車道の区間が開通し、静岡県、長野県、東京都方面への交通アクセスが向上しています。

町で利用されている民間交通機関については、鉄道の JR 身延線（市川大門駅、鰍沢口駅～甲府駅方面・富士駅方面）があり、通勤通学に利用されています。

また、路線バスとして山梨交通バス（鰍沢営業所～甲府方面 3 系統）が運行しているほか、代替バスとして鰍沢営業所～十五所経由～中央病院線を沿線自治体で運行しており、身延町営バス（鰍沢口駅・鰍沢営業所～身延駅）が乗り入れ、身延高校への通学等に利用されています。

更に、タクシー会社が 3 社（青柳タクシー、豊栄タクシー、鰍沢タクシー）営業しており、住民の買い物や医療機関等への移動手段として利用されているほか、他の公共交通機関を補完する役割を担っています。

その他には、高速道路の路線バス（停留所～東京、名古屋方面）があり、町内から各地域へ繋がっています。

本町が運行する地域公共交通としては、コミュニティバス、ホリデーバス、デマンド交通の 3 種類があります。

コミュニティバスは、平日に運行し、JR 身延線と接続するバスになります。県立青洲高校を発し最寄り駅の市川大門駅を経由して市街地を巡って鰍沢口駅までを結び、主に電車利用をする方の通勤・通学のために利用されています。

ホリデーバスは、鰍沢口駅を拠点として、平林、小室、五開地区を結ぶ 3 路線で、土日祝日に運行し、地域住民の足として、また各地区へ向かう観光客の移動手段としても活用されています。

デマンド交通は、平日に運行し、中山間地から市街地を結ぶ定時定路線運行と町内を自由に乗降する区域運行の役割を併せた乗り合いバスになります。主に高齢者の利用が多く、病院の受診や買い物等に利用されています。

これらの公共交通機関に加えて、町内小中学校の通学で利用されているスクールバスや、峡南医療センターが運行しているシャトルバス（富士川病院～市川三郷病院）、ファミリーサポート富士川や富士川町社会福祉協議会が実施している有償ボランティアによる移動支援などが、交通手段として利用されています。

2. 町内の公共交通の現状

(1) 鉄道

最寄りの鉄道駅として、JR 身延線の鰍沢口駅、市川大門駅が利用されており、広域幹線の役割を果たしております。鰍沢口駅には、コミュニティバス、ホリデーバス、身延町営バスが接続しており、鉄道駅へのアクセス機能を果たしています。また、デマンド交通区域運行（鰍沢地区）でも、利用することができます。

市川大門駅へは、コミュニティバスが接続しており、主に甲府方面への通勤通学に利用されています。

(2) 路線バス

山梨交通（株）が運行する、鰍沢営業所～十五所経由～甲府駅、鰍沢営業所～西野経由～中央病院、フォレストモール富士川～十五所経由～甲府駅、鰍沢営業所～十五所経由～一高前の3系統4路線と、代替バスとして沿線自治体で運行している鰍沢営業所～南湖経由～中央病院、身延町が運行する身延鰍沢線（身延駅～鰍沢口駅）があります。県内主要地域へ向かう、広域幹線の役割を果たしています。

人口減少に伴い、利用者数の減少がみられ、近年の新型コロナウイルス感染症の拡大で大きく利用者数が減少しました。流行の収束に伴い、利用者数は回復傾向にありますが、以前の水準までは戻っていません。

(3) 高速バス

山梨交通（株）・京王バス（株）が共同運行する身延・南アルプス～新宿線の停留所が3カ所（青柳・鰍沢（本町）・五開入口）、青木バス（株）が運行する山梨～名古屋線の停留所が1カ所（道の駅富士川）あり、県外へのアクセスとして観光や仕事等に利用されています。

(4) タクシー

町内では、青柳タクシー、豊栄タクシー、鰍沢タクシーの3社が営業しており、高齢者の買い物や医療機関等への移動手段として活用されています。また、この3社は、町のデマンド交通の運行も委託されており、町の公共交通の重要な役割を担っています。

利用者数の減少や運転手不足で稼働車両が削減されており、新型コロナウイルス感染症の影響も大きく、コロナ前の水準には回復していません。

(5) コミュニティバス

鰺沢口駅を起点に、町内の主要施設を巡りながら、市川大門駅（令和2年度には青洲高校まで延伸）までを繋ぎ、JR身延線への接続を目的として運行しており、地域内幹線として通勤・通学等に利用されています。運行は山梨交通（株）へ委託しています。

(6) ホリデーバス

土日祝日に運行する、鰺沢口駅を起点とした中山間地の平林、小室、十谷方面へ向かう3路線の交通機関です。地域住民や観光客の移動手段として利用されています。運行は山梨交通（株）へ委託しています。

利用者数が低い水準にとどまり、運行の見直しが必要となっています。

(7) デマンド交通定時定路線

平日の朝夕に、中山間地の平林、小室、十谷方面の3路線をジャンボタクシーで往復する定時定路線型の交通機関です。利用者の減少により路線の維持が困難になった町営バスの代わりとして導入し、小型の車両で運行することで効率化を図り、中山間地の移動手段を確保しています。

(8) デマンド交通区域運行

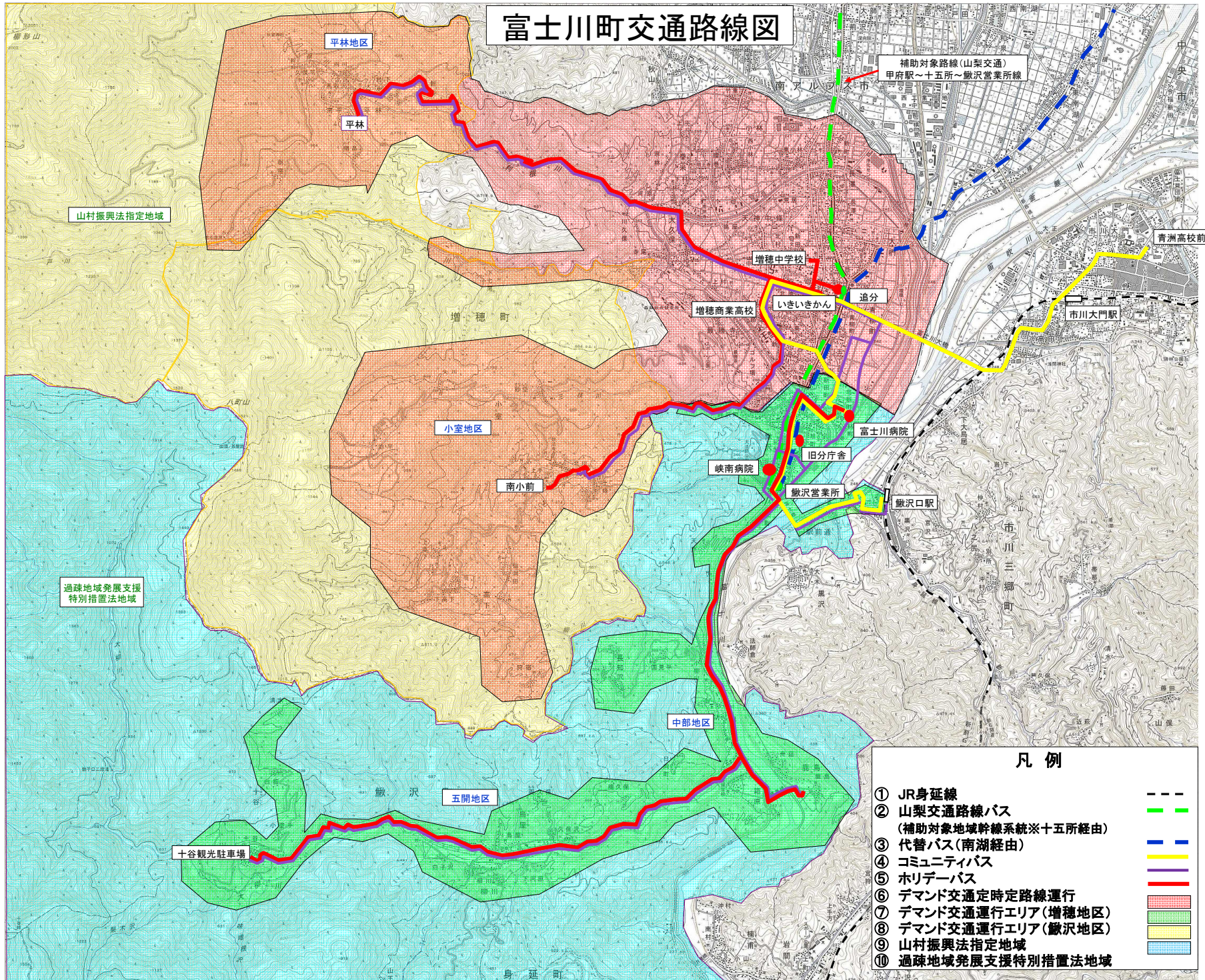
平日の日中に、中山間地と市街地を結ぶ交通手段として、ジャンボタクシーによる増穂地区2台、鰺沢地区1台の計3台体制で運行しています。利用者の減少により路線の維持が困難になった町営バスの代わりとして導入し、小型の車両で利用者の希望に合わせて経路を変更できるように運行することで、利便性と乗車効率の向上を図っています。

増穂地区はドアツードアで運行していますが、鰺沢地区はエリアが広大となり、運行時間が長くなることから、停留所方式での折り返し運行となっています。このため、利用者から増穂地区と同様のドアツードア方式を求める要望があります。

3. 各公共交通の位置付け

位置付け	系統	事業区分	実施主体	役割	補助金の活用
広域幹線	JR 身延線	第一種鉄道	交通事業者	市街地から町外への広域交通を担う	
	山梨交通路線バス	一般乗合	交通事業者		バス路線運航費補助金(町)
	代替バス(南湖経由)	一般乗合	富士川町・昭和町・中央市・南アルプス市共同運行(運行は交通事業者に委託)		市町村自主運営バス運行費(県)
地域内幹線	コミュニティバス	一般乗合	富士川町(運行は交通事業者に委託)	JR 身延線 鯉沢口駅を拠点に、市街地主要施設への連絡や広域幹線に接続する	市町村自主運営バス運行費(県)
支線 (補助系統)	ホリデーバス	一般乗合	富士川町(運行は交通事業者に委託)	町内各地域を運行し、軸となる幹線や地域拠点に接続する	
	デマンド交通 定時定路線	一般乗合	富士川町(運行は交通事業者に委託)		地域公共交通確保維持事業 (フィーダー補助)(国)
	デマンド交通 区域運行	一般乗合	富士川町(運行は交通事業者に委託)		地域公共交通確保維持事業 (フィーダー補助)(国)

富士川町交通路線図



- 凡例**
- ① JR身延線 ---
 - ② 山梨交通路線バス (補助対象地域幹線系統※十五所経由) — — —
 - ③ 代替バス(南湖経由) — — —
 - ④ コミュニティバス — — —
 - ⑤ ホリデーバス — — —
 - ⑥ デマンド交通定時定路線運行 — — —
 - ⑦ デマンド交通運行エリア(増穂地区) ■
 - ⑧ デマンド交通運行エリア(諏沢地区) ■
 - ⑨ 山村振興法指定地域 ■
 - ⑩ 過疎地域発展支援特別措置法地域 ■

5. アンケートからわかる町内の移動実態

計画策定に先立ち、住民に対してアンケート調査を実施し、町内の移動実態の把握に努めました。

アンケート結果によると、91.9%が世帯で自動車を保有しており、84.0%が日常的に自動車を運転していることがわかりました。

免許証の自主返納についての意識は、全体で19.5%に返納の意思がありますが、年齢別でみると、75～79歳が25.0%と一番高く、次いで20歳代が23.5%、65～69歳が22.0%と、必ずしも高齢の方の意識が高いわけではないことがわかりました。また、返納を予定している年齢については、80歳代が50.0%、70歳代が27.5%と大半を占めていました。

免許証自主返納の意識からも、自動車への依存度が高いことがわかりました。

公共交通機関の利用状況については、鉄道の利用者は42.8%で、この内1月に1日以上利用する者は17.2%。利用していない者の利用しない理由は、「他の移動手段を利用している」が92.8%となっています。

路線バスを利用している者は12.0%で、この内1月に1日以上利用する者は28.3%。利用していない者の利用しない理由は、「他の移動手段を利用している」が85.3%となっています。

町が運行している交通機関（コミュニティバス、ホリデーバス、デマンド交通）については、いずれも利用している者は3%未満でした。利用していない者の利用しない理由について、「他の移動手段を利用している」が80%前後で一番多いのはほかの交通機関と同様ですが、次いで「利用方法がわかりづらい」が15%前後と比較的目立つ結果となっています。

（1）町の公共交通の課題

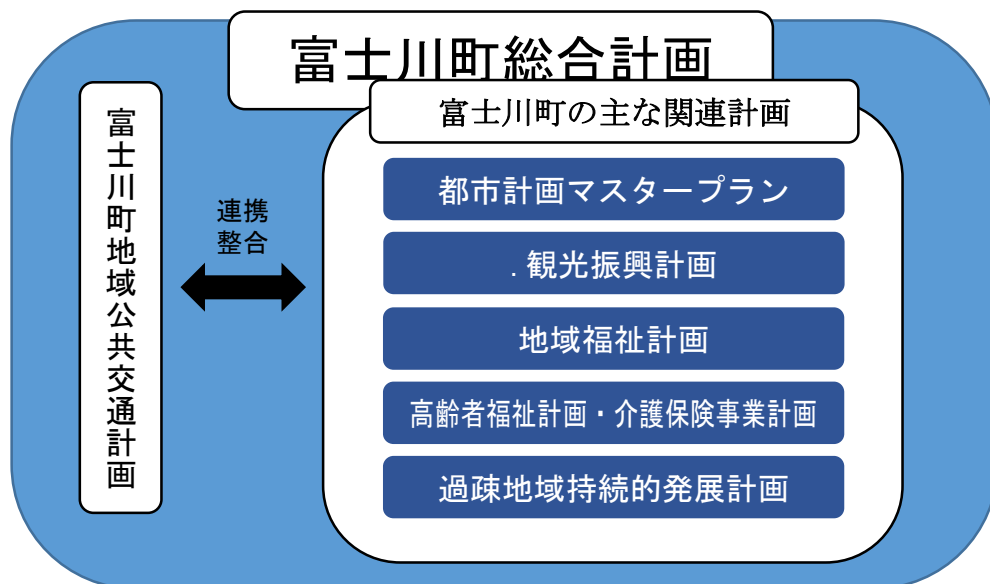
生活様式の変化による自動車への依存度の高さや人口減少に伴い、各交通機関の利用者数が減少しています。利用者の減少は、減便や稼働車両の削減につながり、住民生活の質が低下し、継続的な交通サービスの提供が困難になっていきます。

また、高齢化が進み、高齢者ドライバーの交通安全を考えると、運転免許証の自主返納を進めていく必要がありますが、その受け皿としての地域公共交通の重要性はより高まっています。特に、デマンド交通（定時低路線・区域運行）は、交通弱者の多い中山間地域と市街地や主要幹線をつなぐ効率的な交通手段として、今後も持続的な運行が必要となります。

こうしたことから、現状の交通資源をどの様に維持し、住民の移動手段として確保していくかが課題となっています。

第2章 計画の基本的な考え方

1. 計画の位置づけ



【町の各種計画における公共交通に関する記述】

計画名 (計画期間)	頁	編	章	節	内容
第二次総合計画 (平成30年度～ 令和7年度)	41	2 基本構想	第3章 施策の大綱	2 施策の方向	6 活力を生み出す都市基盤が整ったまちづくり 6-3 公共交通の充実 高齢者などの交通弱者が増加する傾向にあるため、公共バスやデマンド交通などを組み合わせ、病院や役場、JR身延線の各駅等を結ぶ、効率的かつ利便性の高い公共交通体系の構築や、公共交通の体系や利用方法をわかりやすく説明したマニュアルの作成を行い、利用促進を図ります。 また、通勤・通学として活用されているコミュニティバスについては、今後予定されている高校再編に伴う路線の見直しについて検討していきます。
	96	3 基本計画	第3章 基本目標ごとの施策	6 活力を生み出す都市基盤が整ったまちづくり	6-3 公共交通の充実 【現状と課題】 公共交通の満足度は低い状態にあり、高齢者や子どもなど、交通弱者の移動手段の確保と利便性の向上が求められています。 なかでも高齢者の増加により免許返納などが進み、公共

				<p>交通は高齢者の移動手段として更なる利便性の向上が求められております。</p> <p>また、鉄道や商業施設、病院などへのアクセスについて充実を望む声もあり、今後の公共交通については、民間交通事業者と連携を図り住民のニーズに対応していく必要があります。</p> <p>【施策の方向】</p> <p>高齢者などの交通弱者が増加する傾向にあるため、公共バスやデマンド交通などを組み合わせ、病院や役場、JR 身延線の各駅等を結ぶ、効率的かつ利便性の高い公共交通体系の構築や利用方法をわかりやすく説明したマニュアルの作成を行い、利用促進を図ります。</p> <p>また、通勤・通学として活用されているコミュニティバスについては、今後予定されている高校再編に伴う路線の見直しについて検討していきます。</p> <p>【主な施策・事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○循環バスの利便性向上（デマンドバス、コミュニティバス、ホリデーバス等） ○町内公共交通機関の利用マニュアル作成 ○JR 身延線の利便性の向上（公共バスと鉄道との接続時間の改善）等
--	--	--	--	--

計画名 (計画期間)	頁	章	節	細節	内容
都市計画マスタープラン (平成26年～令和12年)	53	第3章 分野別まちづくり方針	2. 人や地域を結ぶ道路・交通まちづくり方針	2) 主要な交通拠点の機能強化とバスなどの公共交通の利便性を高めます。	②公共交通の利便性の向上 ■鉄道の利便性の向上と運行強化 ○鉄道利便性の向上、運行本数の増加要請等の運行強化 ■バス路線網の充実 ○町内循環バスの運行コースやダイヤ編成の強化(路線バス、町営バス、コミュニティバスの連携強化) ○乗合タクシーの検討、ボランティアや自治会、社会福祉協議会等の連携による過疎地有償運送の検討など、新たな公共交通システムの検討 ■デマンド交通システムの充実 ○路線バスとの接続充実など地域間公共交通の利便性を高めるデマンド交通システムの強化、バス不便エリアや中山間地域等の運行体系の充実
	113	第4章 地域別まちづくり方針	1. 都市・田園地域まちづくり方針	5) 中心市街地の道路交通網の機能強化と、安全で快適なまちづくりを進めます。	③ 中心市街地の暮らしのみちづくりの推進、公共交通の利便性の向上 ■公共交通の利便性の向上・地域住民の利便性に資する路線バスや町営バス、コミュニティバスなど、公共交通の連携強化とバスサービスの充実に努めます。
	123		2. 平林・穂積地域まちづくり方針	3) 地域を結び、暮らし・防災・観光活性化に資する中山間地域の道づくりを進めます。	② 交流や安心を支えるバスサービスの充実・強化・地域住民の利便性に資する路線バス、町営バス、コミュニティバスなど公共交通の連携強化を図るとともに、中山間地域と市街地を結ぶデマンドバスの効率的な活用を検討します。
	134		3. 中部・五開地域まちづくり方針	2) 奥行きある郷の魅力を発信する観光・交流のまちづくりを進めます。	② 魅力資源のネットワーク化による魅力の向上 ■公共交通の観光利用の促進・JR身延線の観光活用やサイクルトレインの要請、大型観光バスが通行可能な主要道路の改善、バス運行サービスの充実など、地域への観光の足の確保を図ります。
	136			4) 地域を結ぶまちづく	② 地域実情にあわせたバスサービスの充実と利便性の向

				りと安全で 利便性の高 い交通環境 づくりを進 めます。	上 ・地域の日常の利便性に資す る路線バス、町営バス、コミュ ニティバスなどの公共交通の 連携強化を図るとともに、そ の効率的な活用を検討しま す。 ・過疎対策と地域の実情に応 じた、柔軟なバスサービスの 検討と充実を図ります（デマ ンドバスや乗合タクシーの検 討、時間帯や区間など需要に 併せた運行コースやダイヤ編 成等の検討）。	
	155	第5章 計画 の実現に向 けて	3. 先導的な まちづくり 施策の取り 組みの推進	2) 道路・交 通に関する プロジェクトの推進	③ バス運行サービスの充実 と利便性の向上 ○路線バスや町営バス、コミュ ニティバスなど公共交通の 連携強化とバスサービスの充 実 ○過疎対策や地域間公共交 通の利便性を高めるデマ ンド交通システムの強化、乗 合タクシーの検討など、地 域の実情に応じた柔軟なバ スサービスの検討	
計画名 (計画期間)	頁	章	節	項目	内容	
町観光振興計画 (平成30年度～ 令和7年度)	17	IV. 地域別の 観光動向	1. 地域別の 特性と観光 地づくりの 課題	穂積地域の 課題	・ 県道高下鰐沢線が市街地か ら地域を東西に結ぶ骨格道路 となっており、林道 と併せ観光道路となっている が、市街地と地域間のアクセ スの脆弱さや、観光客の利用 に供する公共交通の利便性の 向上が望まれています。	
	25			2. 地域別の 観光づくり の方向	平林地域	⑦ 観光交通の利便性の向上 ・ 大型観光バス等の通行可能 な主要道路の改善、駐車場整 備等によるマイカー観光の利 便性の向上、バス運行サー ビスの充実など、地域への観 光の足の確保を図ります。
	27				穂積地域	⑦ 観光交通の利便性の向上 ・ 大型観光バス等の通行可能 な主要道路の改善、駐車場整 備等によるマイカー観光の利 便性の向上、バス運行サー ビスの充実など、地域への観 光の足の確保を図ります。
	30				中部・五開地 域	⑧ 公共交通の観光利用の促 進 ・ JR身延線の観光活用やサ イクルトレインの要請など、 地域への観光の足の確保を 図ります。

計画名 (計画期間)	頁	章	節	細節	内容
第三次地域福祉計画 (令和4年度～令和8年度)	48	第4章 施策の展開	基本目標3 すべての住民が安心して暮らせるまち【環境づくり】	(5) ユニバーサルデザインの推進	全ての住民が住みなれた地域で快適に、安全に暮らすためには、安心して外出し、自由に行動できる生活環境の整備が必要です。そのためには、各地域の環境を把握し、道路や施設に限らず、移動手段や設備面に配慮することが重要です。 (中略) ユニバーサルデザインを積極的に取り入れ、また、施設だけでなく、一人ひとりが多様な人のことを思いやる心のバリアフリーを広げ、誰もが住みやすいまちづくりを進めていく必要があります。
計画名 計画期間	頁	章	節	細節	内容
第4次高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画 (令和3年度～令和5年度)	54	第4章 基本目標を達成するための各分野の施策	3 だれもが住みやすいまちづくり	3 安心・安全な生活環境の整備	(2) 交通安全の確保 (前略)高齢者の運転免許証の自主返納を進めるなかでは、通院や買い物の外出に支障がないよう、デマンド交通等の交通手段や買い物支援等のサービスを安心して利用できるように支援していきます。
計画名 計画期間	頁	章	節	細節	内容
過疎地域持続的発展計画 (令和3年度～令和7年度)	2	1 基本的事項	1. 富士川町 鰍沢地域の概況	(2) 過疎の状況	○交通通信体系の整備では、地域内の町道、農道、林道など、基幹道路の整備を重点的に行い、併せて、デマンドバスの整備や防災行政無線の整備を行ってきました。
	15	5 交通施設の整備、交通手段の確保	1. 現況と問題点	(1) 総合的な交通体系の確立	中山間地域においては、高齢化が進み、高齢者の移動手段としての町の公共交通機関は、地域住民の生活に欠かせないものとなっています。引き続き、住民の交通手段として整備等を進める必要があります。 また、道路、交通機関の整備に関する地域住民の要望は恒常的に高く、改良・舗装に傾注することなく、橋梁の整備、道路側溝の整備等、道路環境の整備も併せて行う必要があります。
	15		2. その対策	(1) 総合的な交通体系の確立	また、地域住民の交通手段であるデマンドバス増強を図るとともに、コミュニティバス、ホリデーバスの運行、バス

	16			利用者駐輪場整備など、乗客サービスと利便性を向上させる必要があります。
		3. 事業計画 (令和3年度～令和7年度)	4 交通施設 の整備、交通手段 の確保	(9)過疎地域持 続的発展特別事業 公共交通 デマンドバス交通運営事業 (システム導入、電話オペレーター育成) ホリデーバス運行業務委託事業 コミュニティバス運行事業 鰯沢営業所周辺駐輪場設置工事

地域公共交通は様々な活動と関係していることから、地域公共交通計画は町の各種計画と関係を持って作成される必要があります。そこで、上記において、各種計画における地域公共交通に関する位置づけを整理しました。その結果、以下の事項が課題として挙げられます。

- ・ 高齢者の増加や運転免許証返納に伴う公共交通による移動手段の確保
- ・ 交通資源を組み合わせた、効率的かつ利便性の高い公共交通体系の構築
- ・ 公共バスと鉄道との接続時間の改善による、JR身延線の利便性を向上
- ・ 公共交通の満足度の向上
- ・ 利用促進のためのマニュアル作成
- ・ 観光交通の利便性の向上

2. 基本方針

1章で明らかになった課題や、関連する各種計画から整理された課題を踏まえ、本計画の基本方針を以下のとおりとします。

「将来を見据えた持続可能な公共交通の実現」 “生涯”快適に暮らせるまちのための公共交通

3. 基本目標

上記の基本方針を実現するため、以下の3つの目標を定めます。

目標1：住民生活を支える公共交通の確保・維持

目標2：利用者に寄り添った公共交通

目標3：未来に誇れる公共交通体系の模索

4. 数値目標

基本目標の達成状況を把握するため、「運行本数」「利用者数」「満足度」の3種類の成果指標を挙げます。運行本数は現状を維持、利用者数は基準値に人口減少率（デマンド交通区域運行は利用者に高齢者が多いため65歳以上人口）の推計値を乗じたもの、満足度は要望改善を行うことで1%増を目標とします。

項目	対象	基準値 R5	目標値 R10	評価の方法
運行本数	コミュニティバス	4.5 便	4.5 便	令和10年度の運行本数で評価
	ホリデーバス	3.0 便	3.0 便	
	デマンド交通定時定路線（平林線）	3.5 便	3.0 便 ※R6.4 から減便	
	デマンド交通定時定路線（小室線）	3.5 便	3.0 便 ※R6.4 から減便	
	デマンド交通定時定路線（十谷線）	2.0 便	2.0 便	
	デマンド交通区域運行（増穂地区）	8.0 便	9.0 便 ※R6.4 から増便	
	デマンド交通区域運行（鯉沢地区）	8.0 便	8.0 便	
利用者数	コミュニティバス	8,655 人	8,050 人 基準値×人口減少率	運行事業者提供データにより毎年計測
	ホリデーバス	1,179 人	1,100 人 基準値×人口減少率	運行事業者提供データにより毎年計測
	デマンド交通定時定路線（平林線）	470 人	440 人 基準値×人口減少率	運行事業者提供データにより毎年計測
	デマンド交通定時定路線（小室線）	1,069 人	990 人 基準値×人口減少率	運行事業者提供データにより毎年計測
	デマンド交通定時定路線（十谷線）	221 人	210 人 基準値×人口減少率	運行事業者提供データにより毎年計測
	デマンド交通区域運行（増穂地区）	9,963 人	9,890 人 基準値×65歳以上人口減少率	運行事業者提供データにより毎年計測
	デマンド交通区域運行（鯉沢地区）	2,905 人	2,880 人 基準値×65歳以上人口減少率	運行事業者提供データにより毎年計測
年間で利用したことがある者の数	デマンド交通区域運行（増穂地区）	223 人	245 人 5年間で10%増を目指す	デマンド交通予約データにより毎年計測
	デマンド交通区域運行（鯉沢地区）	101 人	111 人 5年間で10%増を目指す	デマンド交通予約データにより毎年計測
満足度	デマンド交通区域運行（増穂地区）	95.7%	97.0%	デマンド交通利用者アンケートにより毎年計測
	デマンド交通区域運行（鯉沢地区）	94.0%	95.0%	デマンド交通利用者アンケートにより毎年計測

5. 計画の区域

富士川町全域とします。

6. 計画の期間

令和6年度～令和10年度とします。

第3章 具体的な施策

1. 【目標1】 住民生活を支える公共交通の確保・維持

現在、町内で運行されている公共交通を基準に、将来にわたってサービスを確保・維持していくための施策です。

(1) 効率的で持続可能な交通体系の確保

各公共交通機関が連携することで、効率的で持続可能な交通体系を確保します。

広域幹線や地域内幹線の運行がない中山間地域等から、支線（補助系統）によりこれらの幹線や地域拠点に接続することで、町外も含めた住民の効率的な移動を支援します。

これらの体系を持続的に確保することは、町や事業者の運営努力だけでは困難であるため、国の地域公共交通確保維持事業や、県の市町村自主運営バス運行費補助金、町のバス路線運行費補助金等を活用していきます。

<実施主体>

富士川町、富士川町地域公共交通活性化協議会、国、山梨県、バス事業者、タクシー事業者

(2) 公共交通の利用促進

町内の交通機関の利用を促進するため、広報誌・ホームページ等、様々な方法で利用を呼び掛けていきます。

<実施主体>

富士川町、富士川町地域公共交通活性化協議会、バス事業者、タクシー事業者

(3) 公共交通の効率化・利便性の向上

町内の公共交通を継続的にサービス提供できるように、各公共交通の効率化・利便性の向上に向けて、先進技術の導入を支援・推進していきます。

<実施主体>

富士川町、富士川町地域公共交通活性化協議会、バス事業者、タクシー事業者

2. 【目標2】 利用者に寄り添った公共交通

公共交通の利用者が快適に移動することができ、買い物や医療機関の受診を不自由なく行えるようにするための施策です。

(1) 時刻表の見直し

JR 身延線のダイヤ改正に合わせて、コミュニティバス、ホリデーバスの時刻表の見直しを行います。

<実施主体>

富士川町、富士川町地域公共交通活性化協議会、バス事業者

(2) 利用者アンケートの実施

デマンド交通区域運行の利用者に対して、アンケートを実施して、運行について利用者の意見を収集し、運行の改善に努めます。

<実施主体>

富士川町、富士川町地域公共交通活性化協議会、デマンド交通区域運行利用者

(3) 利用方法等の周知

利用方法がわかりにくいデマンド交通について、広報誌やホームページを利用して、わかりやすい利用方法の周知に努めます。他の交通機関についても同様の周知を行うとともに、利用促進に努めます。

<実施主体>

富士川町、富士川町地域公共交通活性化協議会、バス事業者、タクシー事業者

(4) 観光施策と連動した交通網の構築

周遊ルートの作成や観光情報の周知といった観光施策に合わせて、ホリデーバスやコミュニティバスなどの公共交通の見直しを行います。

<実施主体>

富士川町、富士川町地域公共交通活性化協議会、バス事業者、タクシー事業者

3. 【目標3】未来に誇れる公共交通体系の模索

既存公共交通の確保・維持にとどまらず、公共交通に未来志向のポジティブなイメージを持ってもらえるよう、先進技術の導入について調査・検討を行います。

(1) 先進技術の導入検討

オンライン予約や電子決済、AI デマンド、自動運転技術など、効率化・利便性向上につながる技術について、調査・研究を行い、その導入を検討していきます。

<実施主体>

富士川町、富士川町地域公共交通活性化協議会、バス事業者、タクシー事業者

(2) クリーンエネルギーの促進

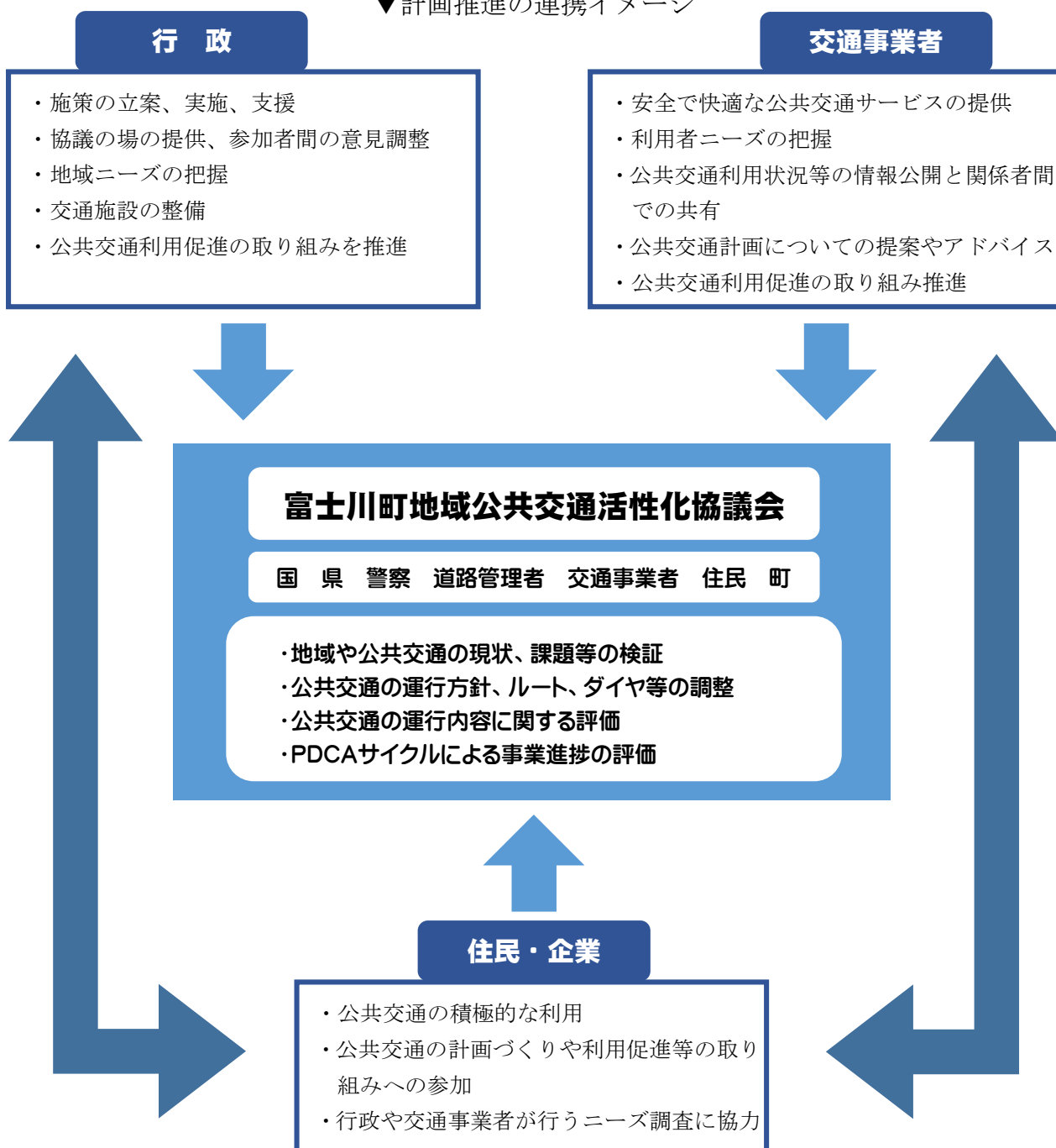
電気や水素燃料電池といった、環境にやさしい車両の導入を促進していきます。

第4章 計画の推進及び点検・評価

1. 計画の推進体制

「将来を見据えた持続可能な公共交通の実現」を基本方針に策定された本計画を着実に推進していくために、住民・企業、交通事業者、行政及びその他の関係機関が、課題を共有し相互に連携してそれぞれの役割を果たし、公共交通がまちづくりと連動することで、住民の生活を支えるシステムとして確立するように事業を推進します。

▼計画推進の連携イメージ



2. 計画の点検・評価

基本方針である「将来を見据えた持続可能な公共交通の実現」を達成するためには、PDCAサイクルを導入して、基本目標に係る数値目標の達成度により計画の進捗状況を客観的に把握・評価し、その後の取り組みの改善につなげていくことが重要です。

具体的には、地域公共交通活性化協議会で年度ごとに数値目標の達成度の点検を行いながら、改善点を抽出し、次の取り組みにつなげていきます。また、点検後において、計画の修正が必要となった場合には、計画期間内であっても速やかに地域の実情に合う計画となるよう変更を行います。



資料編

富士川町人口推計 ※国立社会保障・人口問題研究所

西暦	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
人口	16,307	15,294	14,219	13,250	12,290	11,361	10,426	9,511	8,617
割合%	114.7	107.6	100.0	93.2	86.4	79.9	73.3	66.9	60.6

※2020年までは国勢調査の値

富士川町人口推計（65歳以上）※国立社会保障・人口問題研究所

西暦	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
人口	4,735	4,920	4,959	4,901	4,904	4,873	4,804	4,642	4,335
割合%	95.5	99.2	100.0	98.8	98.9	98.3	96.9	93.6	87.4

※2020年までは国勢調査の値

地域公共交通計画策定に向けたアンケート

調査期間 令和5年12月11日～28日

調査方法 町内在住者1,000人（無作為抽出）に郵送でアンケート依頼。
併せて町ホームページ、公式LINEによりオンラインアンケートを実施。

回答数 郵送による回答 393人
オンライン回答 77人
合計 470人

集計結果 次頁

地域公共交通計画策定に向けたアンケート集計表

単純集計項目	(1)お住まいの地域				
回答	1. 最勝寺	2. 天神中條	3. 大久保	4. 菴米	5. 小林
回答数	66	50	13	21	32
	6. 長澤	7. 大柵	8. 青柳町	9. 平林	10. 穂積
	51	15	87	15	9
	11. 鰻沢北	12. 鰻沢中	13. 鰻沢南	14. 中部	15. 五開
	30	33	19	11	11

単純集計項目	(2)家族の構成				
回答	1. 単身	2. 夫婦のみ	3. 親と子ども	4. 2世帯以上同居	5. その他
回答数	50	157	177	67	12

単純集計項目	(3)世帯で保有する自動車、原付・バイク、自転車等		
回答	■自動車	■原付・バイク	■自転車
回答数	432	151	241

単純集計項目	(1)性別		
回答	1. 男性	2. 女性	3. 回答しない
回答数	226	236	8

単純集計項目	(2)年齢				
回答	1. 10歳代	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代	5. 50歳代
回答数	5	17	29	55	71
	6. 60～64歳	7. 65～69歳	8. 70～74歳	9. 75～79歳	10. 80歳以上
	44	59	60	52	76

単純集計項目	(3)ご職業				
回答	1. 会社員	2. 公務員	3. 自営業	4. 高校生	5. 大学生・専門学生
回答数	103	29	48	4	5
	6. 家事従事者(主婦・夫)	7. パート・アルバイト	8. 無職	9. その他	
	54	64	141	10	

単純集計項目	(4)自動車運転免許証の有無			
回答	1. 免許あり(日常的に運転する)	2. 免許あり(日常的に運転しない)	3. 免許なし(以前は持っていた)	4. 免許なし(取得していない)
回答数	395	15	32	28

単純集計項目	(5)自動車運転免許証の自主返納状況やその予定		
回答	1. 自主返納をしている	2. 自主返納は考えていない	3. 自主返納をする予定 ※返納予定の年齢を入力してください
回答数	25	303	80

単純集計項目	(6)携帯電話の有無		
回答	1. スマホ・タブレットを持っている	2. 携帯電話(ガラケー)を持っている	3. どちらも持っていない
回答数	396	52	27

単純集計項目	(7)携帯電話の主な利用内容				
回答	1. メール利用	2. 通話利用	3. SNS(LINE等)利用	4. アプリ利用	5. インターネット利用
回答数	242	364	301	216	253
	6. あまり利用していない				
	15				

単純集計項目	(1) 普段はひとりで外出できますか		
回答	1. ひとりで外出できる	2. 付き添いがあれば外出できる	3. 外出は難しい → 問4へ
回答数	431	22	2

単純集計項目	(2) 外出時に利用している移動手段をすべて				
回答	1. 徒歩	2. 自家用車 (自分が運転)	3. 自家用車 (家族等の送迎)	4. 原付・バイク	5. 自転車
回答数	201	388	121	33	59
	6. 鉄道	7. デマンド交通	8. コミュニティバス	9. ホリデーバス	10. タクシー
	47	17	7	10	32
	11. 路線バス	12. 福祉送迎車両	13. スクールバス	14. 企業送迎車両	15. その他
	40	6	1	2	4

単純集計項目	(1) 買い物をする頻度				
回答	1. 週に5日以上	2. 週に3~4日	3. 週に1~2日	4. 1ヶ月に2~3日	5. 1ヶ月1日
回答数	59	126	207	34	5
	6. 年に数回	7. 買い物に行かない			
	7	32			

単純集計項目	(2) よく買い物をする具体的な店舗の名前を教えてください		
回答	第1位	第2位	第3位
回答数	オギノ富士川店	サンマルシェふじかわ店	クスリのサンロード増穂店

単純集計項目	(4)a 買い物に行くときの主な交通手段				
回答	1. 徒歩	2. 自家用車 (自分が運転)	3. 自家用車 (家族等の送迎)	4. 原付・バイク	5. 自転車
回答数	9	368	32	7	7
	6. 鉄道	7. デマンド交通	8. コミュニティバス	9. ホリデーバス	10. タクシー
	0	7	0	1	4
	11. 路線バス	12. 福祉送迎車両	13. スクールバス	14. 企業送迎車両	15. その他
	0	0	0	0	1

単純集計項目	(4)b 帰るときの主な交通手段				
回答	1. 徒歩	2. 自家用車 (自分が運転)	3. 自家用車 (家族等の送迎)	4. 原付・バイク	5. 自転車
回答数	9	363	33	6	7
	6. 鉄道	7. デマンド交通	8. コミュニティバス	9. ホリデーバス	10. タクシー
	0	3	1	1	5
	11. 路線バス	12. 福祉送迎車両	13. スクールバス	14. 企業送迎車両	15. その他
	1	0	0	1	1

単純集計項目	(1) 医療機関に行く頻度				
回答	1. 週に5日以上	2. 週に3~4日	3. 週に1~2日	4. 1ヶ月に2~3日	5. 1ヶ月1日
回答数	0	6	24	59	154
	6. 年に数回	7. 医療機関に行かない			
	168	59			

単純集計項目	(2)よく利用する医療機関の具体的な名前を教えてください		
回答	第1位	第2位	第3位
回答数	富士川病院	くぼた内科胃腸科医院	山梨大学医学部附属病院

単純集計項目	(4)a 医療機関に行くときの主な交通手段				
回答	1. 徒歩	2. 自家用車 (自分が運転)	3. 自家用車 (家族等の送迎)	4. 原付・バイク	5. 自転車
回答数	8	346	46	6	6
	6. 鉄道	7. デマンド交通	8. コミュニティバス	9. ホリデーバス	10. タクシー
	2	4	1	0	3
	11. 路線バス	12. 福祉送迎車両	13. スクールバス	14. 企業送迎車両	15. その他
	1	0	0	0	3

単純集計項目	(4)b 医療機関から帰るときの主な交通手段				
回答	1. 徒歩	2. 自家用車 (自分が運転)	3. 自家用車 (家族等の送迎)	4. 原付・バイク	5. 自転車
回答数	9	340	41	6	4
	6. 鉄道	7. デマンド交通	8. コミュニティバス	9. ホリデーバス	10. タクシー
	2	6	0	0	4
	11. 路線バス	12. 福祉送迎車両	13. スクールバス	14. 企業送迎車両	15. その他
	2	0	0	0	2

単純集計項目	(1)通勤・通学の頻度				
回答	1. 週に5日以上	2. 週に3~4日	3. 週に1~2日	4. 1ヶ月に2~3日	5. 1ヶ月1日
回答数	153	38	8	2	2
	6. 年に数回	7. 通勤・通学していない			
	3	245			

単純集計項目	(2)通勤・通学先の地区名		
回答	1. 町内の場合	2. 町外の場合	県外
回答数	78	122	7

単純集計項目	(2)a 通勤・通学先の地区名				
回答	1. 最勝寺	2. 天神中條	3. 大久保	4. 菴米	5. 小林
回答数	12	16	0	4	9
	6. 長澤	7. 大櫛	8. 青柳町	9. 平林	10. 穂積
	4	1	13	2	3
	11. 鵜沢北	12. 鵜沢中	13. 鵜沢南	14. 中部	15. 五開
	5	6	1	2	0

単純集計項目	(4)a 通勤・通学するときの主な交通手段				
回答	1. 徒歩	2. 自家用車 (自分が運転)	3. 自家用車 (家族等の送迎)	4. 原付・バイク	5. 自転車
回答数	9	174	3	8	4
	6. 鉄道	7. デマンド交通	8. コミュニティバス	9. ホリデーバス	10. タクシー
	3	2	0	0	0
	11. 路線バス	12. 福祉送迎車両	13. スクールバス	14. 企業送迎車両	15. その他
	1	0	1	1	1

単純集計項目	(4)b 通勤・通学先から帰宅するときの交通手段				
回答	1. 徒歩	2. 自家用車 (自分が運転)	3. 自家用車 (家族等の送迎)	4. 原付・バイク	5. 自転車
回答数	9	167	3	4	3
	6. 鉄道	7. デマンド交通	8. コミュニティバス	9. ホリデーバス	10. タクシー
	6	2	0	0	0
	11. 路線バス	12. 福祉送迎車両	13. スクールバス	14. 企業送迎車両	15. その他
	1	0	1	0	1

単純集計項目	(1)私用でおでかけに行く頻度				
回答	1. 週に5日以上	2. 週に3~4日	3. 週に1~2日	4. 1ヶ月に2~3日	5. 1ヶ月1日
回答数	32	49	125	64	20
	6. 年に数回	7. 私用でおでかけはしない			
	17	163			

単純集計項目	(2)私用でよくおでかけする場所の具体的な名前を教えてください		
回答	第1位	第2位	第3位
回答数	イオンモール甲府昭和	ラザウオーク甲斐双葉	まほらの湯

単純集計項目	(4)a 私用でおでかけする際の主な交通手段				
回答	1. 徒歩	2. 自家用車 (自分が運転)	3. 自家用車 (家族等の送迎)	4. 原付・バイク	5. 自転車
回答数	7	286	22	8	3
	6. 鉄道	7. デマンド交通	8. コミュニティバス	9. ホリデーバス	10. タクシー
	6	2	0	0	2
	11. 路線バス	12. 福祉送迎車両	13. スクールバス	14. 企業送迎車両	15. その他
	2	1	0	0	3

単純集計項目	(4)b 私用でおでかけした際の帰るときにの主な交通手段				
回答	1. 徒歩	2. 自家用車 (自分が運転)	3. 自家用車 (家族等の送迎)	4. 原付・バイク	5. 自転車
回答数	7	281	26	8	3
	6. 鉄道	7. デマンド交通	8. コミュニティバス	9. ホリデーバス	10. タクシー
	7	3	0	0	3
	11. 路線バス	12. 福祉送迎車両	13. スクールバス	14. 企業送迎車両	15. その他
	2	1	0	0	4

単純集計項目	(1)デマンド交通(区域運行)を利用していますか		
回答	1. 利用している	2. 利用していない(利用登録をしている)	3. 利用していない(利用登録をしていない)
回答数	13	44	388

単純集計項目	(2)利用する上で課題に感じることを教えてください				
回答	1. 利用の方法がわかりづらい	2. 移動に時間がかかる	3. 運行本数が少ない	4. 乗りたい時間に運行されていない(利用したい時間帯があれば記入してください)	5. 休日の運行がない
回答数	3	3	6	3	7
	6. 行き先が町内に限定されている	7. 運賃が高い	8. 予約が電話のみで利用しにくい	9. 知らない人と一緒に乗りたくない	10. 時間どおりに来ない
	8	1	0	0	1
	11. 利用した時間に予約できないことがある	12. 乗降が停留所でしかない(鰺沢地区)	13. 帰りの時間が不確定で予約しにくい	14. その他	
	1	1	3	3	

単純集計項目	(3)よく利用する便を教えてください				
回答	1. 8:30便	2. 9:20便	3. 10:10便	4. 11:00便	5. 11:50便
回答数	2	11	4	4	4
	6. 12:40便	7. 13:30便	8. 14:20便	9. 15:10便	
	2	3	3	1	

単純集計項目	(4)利用する頻度				
回答	1. 週に5日以上	2. 週に3~4日	3. 週に1~2日	4. 1ヶ月に2~3日	5. 1ヶ月1日
回答数	1	1	2	3	4
	6. 年に数回				
	4				

単純集計項目	(5)利用の目的				
回答	1. 通院	2. 買い物	3. 通勤	4. 通学	5. 習い事
回答数	10	13	0	0	1
	6. レジャー(旅行、行楽など)	7. サークル活動	8. 趣味	9. その他	
	2	2	1	0	

単純集計項目	(6)利用していない理由				
回答	1. 他の移動手段を利用している	2. 利用の方法がわかりづらい	3. 移動に時間がかかる	4. 運行本数が少ない	5. 乗りたい時間に運行されていない
回答数	252	69	12	25	12
	6. 休日の運行がない	7. 行き先が町内に限定されている	8. 運賃が高い	9. 予約が電話のみで利用しにくい	10. 知らない人と一緒に乗りたくない
	10	18	3	24	3
	11. 時間どおりに来ない	12. 利用した時間に予約できないことがある	13. 乗降が停留所でしかない(鰺沢地区)	14. 帰りの時間が不確定で予約しにくい	15. 自家用車の方が便利
	1	4	3	11	184
	16. 家協等の協力で移動手段が確保できる	17. その他			
	35	9			

単純集計項目	(1)デマンド交通(定時定路線)を利用していますか	
回答	1. 利用している	2. 利用していない
回答数	12	405

単純集計項目	(2)利用する上で課題に感じることを教えてください				
回答	1. 利用の方法がわかりづらい	2. 移動に時間がかかる	3. 運行本数が少ない	4. 乗りたい時間に運行されていない	5. 休日の運行がない
回答数	2	3	3	0	5
	6. 希望する乗降場所に停留所がない	7. 運賃が高い	8. 知らない人と一緒に乗りにくい	9. 時間どおりに来ない	10. その他
	1	0	0	1	1

単純集計項目	(3)利用する路線		
回答	1. 平林線	2. 小室線	3. 十谷線
回答数	6	1	4

単純集計項目	(4)利用する頻度				
回答	1. 週に5日以上	2. 週に3~4日	3. 週に1~2日	4. 1ヶ月に2~3日	5. 1ヶ月1日
回答数	1	3	2	2	1
	6. 年に数回				
	5				

単純集計項目	(5)利用の目的				
回答	1. 通院	2. 買い物	3. 通勤	4. 通学	5. 習い事
回答数	10	11	0	1	1
	6. レジャー(旅行、行楽など)	7. サークル活動	8. 趣味	9. その他	
	3	2	1	1	

単純集計項目	(6)利用していない理由				
回答	1. 他の移動手段を利用している	2. 利用の方法がわかりづらい	3. 移動に時間がかかる	4. 運行本数が少ない	5. 乗りたい時間に運行されていない
回答数	338	66	8	21	9
	6. 休日の運行がない	7. 希望する乗降場所に停留所がない	8. 運賃が高い	9. 知らない人と一緒に乗りにくい	10. 時間どおりに来ない
	11	12	4	4	4
	11. その他				
	27				

単純集計項目	(1)コミュニティバスを利用していますか	
回答	1. 利用している	2. 利用していない
回答数	10	414

単純集計項目	(2)利用する上で課題に感じることを教えてください				
回答	1. 利用の方法がわかりづらい	2. 移動に時間がかかる	3. 運行本数が少ない	4. 乗りたい時間に運行されていない	5. 休日の運行がない
回答数	4	1	12	5	4
	6. 希望する乗降場所に停留所がない	7. 運賃が高い	8. 知らない人と一緒に乗りにくい	9. 時間どおりに来ない	10. その他
	2	2	0	1	4

単純集計項目	(3)よく利用する便				
回答	1. 青洲高校前行第3便(6:50~7:13)	2. 青洲高校前行第2便(7:30~7:58)	3. 青洲高校前行第3便(8:10~8:38)	4. 青洲高校前行第4便(13:55~14:23)	5. 青洲高校前行第5便(17:45~18:13)
回答数	2	1	3	0	0
	6. 鵜沢口駅行第1便(8:10~8:38)	7. 鵜沢口駅行第2便(13:20~13:48)	8. 鵜沢口駅行第3便(16:25~18:53)	9. 鵜沢口駅行第4便(18:25~18:53)	
	3	2	6	4	

単純集計項目	(4)利用する頻度				
回答	1. 週に5日以上	2. 週に3~4日	3. 週に1~2日	4. 1ヶ月に2~3日	5. 1ヶ月1日
回答数	0	2	1	1	3
	6. 年に数回				
	7				

単純集計項目	(5)利用の目的				
回答	1. 通院	2. 買い物	3. 通勤	4. 通学	5. 習い事
回答数	5	7	1	2	0
	6. レジャー(旅行、行楽など)	7. サークル活動	8. 趣味	9. その他	
	4	1	0	2	

単純集計項目	(6)利用していない理由				
回答	1. 他の移動手段を利用している	2. 利用の方法がわかりづらい	3. 移動に時間がかかる	4. 運行本数が少ない	5. 乗りたい時間に運行されていない
回答数	331	65	7	20	9
	6. 休日の運行がない	7. 希望する乗降場所に停留所がない	8. 運賃が高い	9. 知らない人と一緒に乗りにくい	10. 時間どおりに来ない
	7	11	5	2	2
	11. その他				
	28				

単純集計項目	(1)ホリデーバスを利用していますか	
回答	1. 利用している	2. 利用していない
回答数	8	412

単純集計項目	(2)利用する上で課題に感じることを教えてください				
回答	1. 利用の方法がわかりづらい	2. 移動に時間がかかる	3. 運行本数が少ない	4. 乗りたい時間に運行されていない	5. 平日の運行がない
回答数	4	1	6	3	2
	6. 希望する乗降場所に停留所がない	7. 運賃が高い	8. 知らない人と一緒に乗りにくい	9. 時間どおりに来ない	10. その他
	0	0	1	2	3

単純集計項目	(3)利用する路線		
回答	1. 平林線	2. 小室線	3. 十谷線
回答数	5	3	0

単純集計項目	(4)利用する頻度				
回答	1. 週に5日以上	2. 週に3~4日	3. 週に1~2日	4. 1ヶ月に2~3日	5. 1ヶ月1日
回答数	0	0	0	1	2
	6. 年に数回				
	4				

単純集計項目	(5)利用の目的				
回答	1. 通院	2. 買い物	3. 通勤	4. 通学	5. 習い事
回答数	0	1	0	1	1
	6. レジャー(旅行)	7. サークル活動	8. 趣味	9. その他	
	5	0	1	1	

単純集計項目	(6)利用していない理由				
回答	1. 他の移動手段を利用している	2. 利用の方法がわかりづらい	3. 移動に時間がかかる	4. 運行本数が少ない	5. 乗りたい時間に運行されていない
回答数	342	59	6	18	9
	6. 休日の運行がない	7. 希望する乗降場所に停留所がない	8. 運賃が高い	9. 知らない人と一緒に乗りにくい	10. 時間どおりに来ない
	2	9	3	1	1
	11. その他				
	29				

単純集計項目	(1)路線バス(山梨交通など)を利用していますか	
回答	1. 利用している	2. 利用していない
回答数	53	388

単純集計項目	(2)利用する上で課題に感じることを教えてください				
回答	1. 利用の方法がわかりづらい	2. 移動に時間がかかる	3. 運行本数が少ない	4. 乗りたい時間に運行されていない	5. 希望する乗降場所に停留所がない
回答数	4	13	36	9	4
	6. 運賃が高い	7. 知らない人と一緒に乗りにくい	8. 時間どおりに来ない	9. その他	
	19	0	4	4	

単純集計項目	(3)よく利用する路線				
回答	1. 鯉沢営業所(西野経由)県立中央病院	2. 鯉沢営業所(南湖経由)県立中央病院	3. 鯉沢営業所(十五所経由)甲府駅バスターミナル	4. 鯉沢営業所(十五所経由)一高前	5. フォレストモール富士川(十五所経由)甲府駅バスターミナル
回答数	1	8	36	1	10
	6. 身延町営バス(身延駅方面)	7. その他			
	3	5			

単純集計項目	(4)利用する頻度				
回答	1. 週に5日以上	2. 週に3~4日	3. 週に1~2日	4. 1ヶ月に2~3日	5. 1ヶ月1日
回答数	1	2	2	2	8
	6. 年に数回				
	35				

単純集計項目	(5)利用の目的				
回答	1. 通院	2. 買い物	3. 通勤	4. 通学	5. 習い事
回答数	6	12	11	2	1
	6. レジャー(旅行、行楽など)	7. サークル活動	8. 趣味	9. その他	
	24	1	5	9	

単純集計項目	(6)利用していない理由				
回答	1. 他の移動手段を利用している	2. 利用の方法がわかりづらい	3. 移動に時間がかかる	4. 運行本数が少ない	5. 乗りたい時間に運行されていない
回答数	331	23	17	32	10
	6. 希望する乗降場所に停留所がない	7. 運賃が高い	8. 知らない人と一緒に乗りにくい	9. 時間どおりに来ない	10. その他
	13	25	2	3	30

単純集計項目	(1)よく利用する駅を教えてください			
回答	1. 鵜沢口駅	2. 市川大門駅	3. その他	4. 利用しない
回答数	51	121	26	265

単純集計項目	(2)ご自宅から駅までの距離(徒歩による時間)				
回答	1. 1,000m以内 (約13分)	2. 2,000m以内 (約25分)	3. 3,000m以内 (約40分)	4. 5,000m以内 (約1時間)	5. 5,000m以上 (約1時間以上)
回答数	16	26	55	60	41

単純集計項目	(3)駅までの移動手段				
回答	1. 徒歩	2. 自家用車 (自分が運転)	3. 自家用車 (家族等の送迎)	4. 原付・バイク	5. 自転車
回答数	22	85	94	9	8
	6. デマンド交通	7. コミュニティバス	8. ホリデーバス	9. タクシー	10. 路線バス
	2	7	5	24	6
	11. その他				
	1				

単純集計項目	(4)よく利用する時間帯を教えてください			
回答	1. 朝(~10:00)	2. 午前中 (10:00~12:00)	3. 午後 (12:00~16:00)	4. 夕方以降 (16:00~)
回答数	95	31	9	21

単純集計項目	(5)利用する頻度				
回答	1. 週に5日以上	2. 週に3~4日	3. 週に1~2日	4. 1ヶ月に2~3日	5. 1ヶ月1日
回答数	5	1	3	9	16
	6. 年に数回				
	119				

単純集計項目	(6)利用の目的				
回答	1. 通院	2. 買い物	3. 通勤	4. 通学	5. 習い事
回答数	9	32	21	3	3
	6. レジャー (旅行、行楽など)	7. サークル活動	8. 趣味	9. その他	
	99	2	17	27	

単純集計項目	(7)利用していない理由				
回答	1. 他の移動手段を利用している	2. 利用の方法がわかりづらい	3. 移動に時間がかかる	4. 運行本数が少ない	5. 乗りたい時間に運行されていない
回答数	246	11	16	15	5
	6. 希望する乗降場所に駅がない	7. 運賃が高い	8. 知らない人と一緒に乗りにくい	9. 時間どおりに来ない	10. 駅までの移動手段がない
	6	3	2	1	1
	11. その他				
	18				

令和4年度 デマンド交通利用状況

年	月	運行日数	月乗車人数		乗車人数計	1日平均乗車人数	
			定時定路線	区域運行		定時定路線	区域運行
令和4	4	20	176	1,039	1,215	9	52
	5	19	189	1,013	1,202	10	53
	6	22	225	1,041	1,266	10	47
	7	20	159	1,078	1,237	8	54
	8	22	90	1,087	1,177	4	49
	9	20	126	1,038	1,164	6	52
	10	20	132	1,054	1,186	7	53
	11	20	129	1,158	1,287	6	58
	12	20	149	1,178	1,327	7	59
令和5	1	19	107	996	1,103	6	52
	2	19	158	1,010	1,168	8	53
	3	22	120	1,176	1,296	5	53
合計		243	1,760	12,868	14,628	7	53
前年比		1	68	-565	-497	0	-3

年度	運行日数	乗車人数		乗車人数計	1日平均乗車人数	
		定時定路線	区域運行		定時定路線	区域運行
令和3年度	242	1,692	13,433	15,125	7	56
令和2年度	243	2,222	14,350	16,572	9	59
令和元年度	240	2,013	16,983	18,996	8	71
平成30年度	244	1,807	16,540	18,347	7	68
平成29年度	244	2,256	15,714	17,970	9	64
平成28年度	243	2,525	16,431	18,956	10	68
平成27年度	243	3,828	16,124	19,952	16	66

令和4年度 コミュニティバス利用状況

年	月	運行日数	乗車人数	1日平均乗車人数
令和4	4	20	563	28
	5	19	642	34
	6	22	782	36
	7	20	754	38
	8	22	611	28
	9	20	744	37
	10	20	885	44
	11	20	884	44
	12	20	791	40
令和5	1	19	695	37
	2	19	618	33
	3	22	686	31
合計		243	8,655	36
前年比		0	2,065	8

年度	運行日数	乗車人数	1日平均乗車人数
令和3年度	243	6,590	27
令和2年度	244	13,957	57
令和元年度	241	20,833	86
平成30年度	245	25,536	104
平成29年度	249	25,173	101
平成28年度	245	21,390	87
平成27年度	247	17,517	71

令和4年度 ホリデーバス利用状況

年	月	運行日数	平林線	小室線	十谷線	乗車人数計	1日平均乗車人数
令和4	4	10	48	35	18	101	10
	5	12	40	43	51	134	11
	6	8	29	41	24	94	12
	7	11	36	52	31	119	11
	8	9	26	37	13	76	8
	9	10	27	37	14	78	8
	10	11	28	57	37	122	11
	11	10	29	36	33	98	10
	12	8	26	32	31	89	11
令和5	1	9	42	32	20	94	10
	2	9	36	38	14	88	10
	3	9	33	39	14	86	10
合計		116	400	479	300	1,179	10
前年比		-1	-20	114	-149	-55	0

年度	運行日数	平林線	小室線	十谷線	乗車人数計	1日平均乗車人数
令和3年度	117	420	365	449	1,234	11
令和2年度	115	461	380	270	1,111	10
令和元年度	118	696	631	668	1,995	17
平成30年度	115	571	627	590	1,788	16
平成29年度	115	504	666	715	1,885	16
平成28年度	113	535	535	882	1,952	17
平成27年度	58	228	243	412	883	15